

**東急グループ代表 上條 清文（東京急行電鉄株式会社取締役会長）
2010年度 東急グループ合同入社式メッセージ【要旨】**

東急グループ

1. 日 時 2010年4月1日（水）11:00～
2. 場 所 Bunkamura オーチャードホール（東京都渋谷区）
3. 内 容 2010年度東急グループ合同入社式での東急グループ代表・上條 清文（東京急行電鉄株式会社取締役会長）によるメッセージ（要旨）

東急グループでは毎年、首都圏の会社を中心に合同で入社式を開催しています。

参加会社: 東京急行電鉄、東急不動産、東急コミュニティー、東急リバブル、東急建設、
世紀東急工業、東急レクリエーション、東急百貨店、東急ストア、など38社

参加人数: 850人

〔東急グループの一員として認識すべきキーワードは「安心と信頼」〕

現在、わが国経済は、少子化の進行による人口減少社会の到来や、大量消費社会から循環型社会への転換など、大きな社会構造の変革の時に遭遇しておりますが、東急グループでも、各事業において、このような時代の変化に迅速かつ的確に対応していかななくてはなりません。

皆さんの持つ「若い柔軟な発想」や、「若さ溢れる行動力」は事業を進めるうえで大切な要素であります。是非その皆さんの武器を縦横無尽に使っていただきたいと思っております。

さて、本日から社会人として、また東急グループの一員としての第一歩を踏み出されるわけですが、皆さんに、しっかりと認識していただきたい2つのキーワードがあります。それは、「安心と信頼」です。

今日までの東急グループの成長は、先輩たちが長い年月をかけて築いてこられた、安全に裏打ちされた「安心と信頼」を多くのお客さまや社会から得ることにより実現してきたものです。時代が変わり、お客さまから求められる商品、サービスが変わっても、東急グループの基盤がこの安全に裏打ちされた「安心と信頼」であることには変わりありません。

企業は社会的な存在であり、社員一人一人が社会のルールに則って行動しなければなりません。「安心と信頼」を肝に銘じ、社会的な責任を果たしながら、皆さんとともに、愛される東急を目指してまいりたいと思っております。

日本経済は、長らく厳しい局面が続いています。こうした局面を切り開くためにも、皆さんには「会社が自分に何をさせてくれるのか」を待つのではなく、「自分は何をすべきか、どうしたいか」を常に意識し、まずは自身の持ち場で全力投球していただきたいと思っております。

常に高い志を持ち、自ら考えて主体的に動くことが 皆さんの今後の飛躍につながり、ひいては東急グループの成長にもつながります。感性、エネルギー、そして柔軟な発想力を存分に発揮され、皆さんが東急グループの成長の原動力となることを期待しています。

以 上